

令和4年11月5日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

## 報恩講法要ご案内

朝夕冷え込む昨今となりました。皆様方にはお変わりなくご健勝でご精進のことと存じます。

さて、下記の通り標記のご法要が勤修されます。久しぶりのご縁になります岡田先生に、お出で頂きます。

親鸞聖人の御命日にお参りする中で、多くのご縁の中で生かされている私ということ、改めて聴かせて頂く法要です。是非、お誘いあわせの上、ご聴聞ください。

わたくしたちは、仏様とご縁を結び、仏様のお慈悲の中で安穩（安らかで穏やかな）に、おかげさまで生活させていただいています。親鸞聖人、そして多くのご恩に感謝しつつ、お寺に足をはこびましょう。

### 記

- 1.と き 令和4年11月26日(土)午後1時から
- 2.ご講師 岡田 浄教先生（球磨郡錦町 報恩寺）
- 3.おとき ご参詣の皆様、ご仏飯ですので全員お受けください。
- 4.おつとめ 正信念仏偈作法(十二礼の節)

注意：本堂内の椅子は、可能な限り距離は取ってありますが、参拝者のマスク着用・手指消毒はお願いします。 最近発熱があった方、体調不良の方は、本堂への参拝は禁止します。

.....

- ◇ “月のことば”・来年度カレンダー“遇法のよろこび”を配布します。
- ◇ 法要前の掃除・準備を法要当日11月26日8時より行います。お手伝い頂ける方は よろしくお願ひします。お聴聞させて頂くみんなでご法要を作りましょう。
- ◇ 年末寺掃除・仏具みがき：11月19日(土)午後2時から、役員と本年初盆を迎えられた家族、その他お手伝い下さる方で行います。ご無理のなきようご加勢ください。個々にはご通知しませんので、よろしくお願ひいたします。
- ◇ 12月-1月の“学びの会”：11月10日・12月8日(木)は午後2時から。1月14日(土) 午後1時から(御正忌報恩講と兼ねます)。
- ◇ 願成閣・第二願成閣の掃除を12月18日(日)午前9時30分から行います。納骨堂加入者は、よろしく御手伝ひください。

## 伝道（大乘 2022.9）

「ツノは心の姿：むさぼり・腹立ち・おろかさ」

手を合わせ

仏さまを拝むとき

私のツノを知らされる

「負けたことがある というのが いつか 大きな財産になる」スラムダンク

『スラムダンク』とは、バスケットボールを題材にした大人気漫画です。この言葉は、常勝を誇ったチームが逆転負けした際、監督が選手にかけてた言葉ですが、どんなチームやアスリートも常に勝ち続けることはできません。必ず負ける時がやってきます。

これは人間の人生にも共通していると言えるかもしれません。私たちは人生の中で「自分の思い通りになる＝勝ち」「自分の思い通りにならない＝負け」とついつい単純に設定し、一喜一憂してしまいます。

2020年以降、街中で「コロナに負けるな」という言葉をよく目にしました。もちろん、コロナで沈滞した空気を吹き飛ばす意味が込められているのだとは思いますが、このような価値観に共鳴すればするほど、自身が感染した時の精神的ダメージは大きくなります。つまり、「コロナにかかる＝負け」という価値観が自身を苦しめることになるのです。

お釈迦さまが「一切皆苦（人生は思い通りにならない）」とおっしゃっておられるように、人生の中で「負け」（思い通りにならないこと）は必然です。また、「負け」という概念は、そもそも人間が勝手に作り出した設定にすぎません。

ハードル選手として世界を舞台に活躍し、引退した為末大氏が著書『走りながら考える』（ダイヤモンド社）の中で次のようにおっしゃっていました。

**僕の競技人生は、まさに「負けで終わった」けれど、幸せな人生だったと胸を張って言える。そう、負けと幸福感は別である。**

仏教はまさに「負けと幸福感は別である」ということを教えてくれます。負けの中から多くの気づきを得ることができれば、負けが単なる負けではなくなります。結局、負けを単なる負けに終わらせなければ、負けた自分自身を不幸だと決めつけることもなく、負けた経験がその後の人生の大きな財産になっていくのです。